

武蔵野北 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教 科： 数学科 目： 数学Ⅰ単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 高等学校 数学Ⅰ（数研出版） ）

- 教科 数学 の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】

基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】

問題を的確に数学的に表現し数理的に考察、過程や結論を批判的に判断する力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】

数学の活用，数学的論拠に基づく判断，問題解決の考察を深め評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数、データの分析を通して基本概念・原理・法則を体系的に理解し事象を数学化し、数学的解釈・表現・処理することのできる技能を身につける。	命題や条件に着目し、数や式を多面的にみて目的に応じた変形をする力、図形の性質、計量を論理的に考察し表現する力、関数関係を的確に表現する力、データを適切な手法で分析する力で問題を解決し、過程や結論を批判的に考察し判断する力を身につける。	よさを認識し活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 数と式 【知識及び技能】 (1)数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算を身に着ける。 (2)二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深める。 (3)不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 (1)問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 (2)不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 (3)日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を解く方法を考察することができる。 (4)問題解決に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 式の計算 実数 1次不等式 ・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	【知識・技能】 (1)数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算を身に付いたか。 (2)二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深められたか。 (3)不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めることができるか。 【思考・判断・表現】 (1)問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができるか。 (2)不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができるか。 (3)日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を解く方法を考察することができるか。 (4)問題解決に活用することができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養えているか。	○	○	○	17
	第2章 集合と命題 【知識及び技能】 基本概念・原理・法則を体系的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察し，簡単な命題を証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 集合 命題 ・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	【知識・技能】 基本概念・原理・法則を体系的に理解させる。 【思考・判断・表現】 集合の考えを用いて論理的に考察し，簡単な命題を証明することができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養えているか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	第3章 2次関数 【知識及び技能】 (1)二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 (2)二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 (3)二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 (1)二次関数の式とグラフとの関係について，多面的に考察することができる。 (2)二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 2次関数とグラフ 2次関数の値の変化 ・教材 教科書 補助教材 プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	【知識・技能】 (1)二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解できたか。 (2)二次関数の最大値や最小値を求めることができるか。 (3)二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解できたか。 【思考・判断・表現】 (1)二次関数の式とグラフとの関係について，多面的に考察することができるか。 (2)二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりするができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養えているか。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1

2 学 期	第3章　２次関数 【知識及び技能】 二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次不等式を多面的にみて目的に応じた変形をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 2次方程式と2次不等式 ・教材 教科書　補助教材　プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	【知識・技能】 二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができるか。 【思考・判断・表現】 2次不等式を多面的にみて目的に応じた変形をすることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養えているか。	○	○	○	16
	第4章　図形と計量 【知識及び技能】 （1）鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。 （2）三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。 （3）正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 三角比 ・教材 教科書　補助教材　プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	【知識・技能】 （1）鋭角の三角比の意味と相互関係について理解しているか。 （2）三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解しているか。 （3）正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができるか。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができるか。 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養えているか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第4章　図形と計量 空間図形の考察 【知識及び技能】 図形と計量について表現・処理することのできる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 図形と計量を多面的にみて目的に応じた変形をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 三角比の応用 ・教材 教科書　補助教材　プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	空間図形の考察 【知識・技能】 図形と計量について表現・処理することのできる技能を身につけられたか。 【思考・判断・表現】 図形と計量を多面的にみて目的に応じた変形をすることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養えたか。	○	○	○	14
	第5章　データの分析 【知識及び技能】 （1）分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する。 （2）コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりする。 （3）具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 （1）データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できる。 （2）目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現できる。 （3）不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差 2つの変量間の関係 仮説検定の考え方 ・教材 教科書　補助教材　プリント ・一人1台端末の活用 解説動画の活用	【知識・技能】 （1）分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解できたか。 （2）コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができたか。 （3）具体的な事象において仮説検定の考え方を理解することができたか。 【思考・判断・表現】 （1）データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができるか。 （2）目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現できるか。 （3）不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養えているか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	なし						
							合計
							105